

横浜みどリアップ計画の推進について

横浜みどリアップ計画（新規・拡充施策）については、平成21年度から5か年の取組として、施策・事業を進めてきました。

横浜みどリアップ計画（計画期間：平成26―30年度）を策定し、引き続き横浜みどり税を安定的な財源として活用しながら、施策・事業を進めてまいります。

横浜みどリアップ計画（新規・拡充施策）の平成25年度の事業・取組の進捗状況、平成26年度からの取組について報告します。

1 平成25年度の事業・取組の進捗状況について（1月末時点）

【平成25年度事業目標及び進捗状況〔1月末時点〕（別紙1）】

2 平成26年度以降の取組に向けての準備状況について

（1）横浜みどリアップ計画市民推進会議について

【横浜みどリアップ計画市民推進会議について（別紙2）】

（2）横浜みどリアップ計画の初年度広報について

【横浜みどリアップ計画（計画期間：平成26―30年度）の初年度広報について（別紙3）】

<参考資料>

横浜みどリアップ計画（計画期間：平成26―30年度）【概要版】



横浜みどりアップ計画（新規・拡充施策）
平成 25 年度事業目標及び進捗状況〔1 月末時点〕

1 主な事業の進捗状況等について（1 月末時点）

(1) 樹林地を守る

◇特別緑地保全地区指定等拡充事業

< 指定推進状況 >

平成 25 年度目標 指定面積：100ha

制度名		指定済み		備考
		地区数	面積	
【合計】			59. 5ha	※平成 25 年 1 月末時点の指定面積：66. 4ha
内 訳	特別緑地 保全地区	16地区	23. 6ha	<ul style="list-style-type: none"> ・ 7月指定告示 菅田町出戸谷地区、菅田町堀上地区（神奈川区） 今井町根下地区、上菅田町笹山地区（保土ヶ谷区） 市沢町地区、柏町地区、鶴ヶ峰二丁目地区（旭区） 西八朔町藤林地区（緑区） ・ 9月指定告示 上菅田町金草沢地区（保土ヶ谷区） 峰地区（磯子区） 綱島地区（港北区） 池辺町滝ヶ谷戸地区、池辺町八所谷戸地区（都筑区） ・ 11月指定告示 上川井町中田谷地区（旭区） 新吉田町地区（港北区） 神大寺二丁目地区（神奈川区）
	市民の森	4地区	2. 7ha	<ul style="list-style-type: none"> 追分市民の森（旭区） 熊野神社市民の森（港北区） 新治市民の森（緑区） 新橋市民の森（泉区）
	緑地保存 地区	契約件数 23件	7. 6ha	
	源流の森	契約件数 38件	16. 5ha	
	寄附緑地 等	5地区	9. 1ha	

[次頁参照]

<買取り状況（1月末時点で契約済みの集計）>

特別緑地保全地区の指定地等において、不測の事態による買取りの希望などに対応し、緑地として保全を継続します。

平成25年度 買取り対応予定面積：約36ha

制度名	地区名	区名
【合計】	14地区 約7.6ha	※平成25年1月末時点の買取面積：35.6ha
特別緑地保全地区 ・近郊緑地特別保全地区	馬場二丁目地区	鶴見区
	駒岡・梶山地区	鶴見区
	北寺尾七丁目地区	鶴見区
	菅田町堀上地区	神奈川区
	三枚町牛道根地区	神奈川区
	権太坂地区	保土ヶ谷区
	大曾根台地区	港北区
	川和地区	都筑区
	野七里地区	栄区
	大丸山地区	栄区
市民の森等	追分市民の森	旭区
	峯市民の森	磯子区
	新治市民の森	緑区
	舞岡ふるさとの森	戸塚区

(2) 農地を守る

◇食と農との連携事業

平成25年度目標 連携件数：5件

企業等との連携により、地産地消の新たなニーズを開拓し、市内農産物のPRやブランド力の向上を目指します。

- 平成26年1月末時点での実績：6件
- ・横浜産野菜を使用したランチパックの発売（9/1～10/30）
- ・JR東日本横浜支社との連携による第1弾「駅マルシェの開催」（9/11～継続）と第2弾「エキナカ店舗での新メニューの提供及び地産地消キャンペーンの実施」（10/18～12/31）
- ・みなとみらい21地区での商業施設等との連携による「食と農の祭典2013」の開催（11/10）

ほか

※平成25年1月末時点での実績：6件

(3) 緑をつくる

◇地域緑のまちづくり事業

事業を実施している 16 地区の中で、地域緑化計画を策定した 14 地区が地域緑化推進事業に取り組み、緑化整備や維持管理活動を実施しています。

<平成 25 年度の取組状況>

平成 25 年度目標 地域緑化推進地区：16 地区

地区名	区名	地域緑化計画策定事業		地域緑化推進事業	
		新規地区	継続地区	事業実施地区	主な内容
生麦新子安	鶴見区 神奈川区			○	事業所、工場の緑化
山手	中区			○	住宅地の沿道緑化
馬車道	中区			○	商店街の緑化
白根台第九	旭区			○	住宅地の沿道緑化
上白根国際	旭区			○	住宅地の沿道緑化
名瀬たかの台	戸塚区			○	住宅地の沿道緑化
上飯田	泉区			○	住宅地の沿道緑化
みなとみらい21 中央	西区			○	商業施設の緑化
錦が丘	港北区			○	住宅地の沿道緑化
末広	鶴見区			○	事業所、工場の緑化
平楽	南区			○	住宅地の沿道緑化
みなとみらい21 新港	中区		○	○	商業施設の緑化
牛久保西	都筑区		○	○	住宅地の沿道緑化
北寺尾	鶴見区		○	○	商業施設の緑化
みなとみらい21 横浜駅東口・中央	西区		○		
湘南桂台	栄区	○			
地区数の合計	16 地区	1 地区	4 地区	14 地区	
※平成 25 年 1 月末時点の取組状況				11 地区	

2 平成 25 年度事業目標及び進捗状況について〔一覧〕

(1) 樹林地を守る

【凡例】 ●：新規事業（横浜みどり税充当） ◎：拡充事業（横浜みどり税一部充当）
◇：新規事業等（横浜みどり税非充当） ・：事業費のないもの

施策方針/事業・取組	平成 25 年度事業費 [百万円]		平成 25 年度 事業目標	進捗状況 (平成26年1月末時点)	備考 (平成25年1月末時点)	
	総額	横浜 みどり税 充当額				
継続保有の促進						
1	●緑地保全制度の 拡充	-	(-)	・制度案策定	・制度案について 検討	・制度案について 検討：調整中
2	●篤志の奨励制度	-	(-)	・推進	・推進中	・推進中
維持管理推進						
3	◎緑地再生等管 理事業	761	(617)	・緑地再生管理 ：221.1ha	・市民の森・ふれ あいの樹林等の 管理作業 ：149ha	・市民の森・ふれ あいの樹林等の 管理作業 ：114ha
				・樹林地維持管理 助成	・助成金交付受 付：137 件	・助成金交付受 付：93 件
				・危険斜面整備	・施工済み： 5箇所（日吉特 別緑地保全地区 ほか） ・施工中：1 箇所 （大岡三丁目緑 地） ・設計実施： 4箇所（上山・ 白山特別緑地保 全地区ほか）	・施工済み： 4 箇所 ・施工中：9 箇所 ・設計中：1 箇所
4	◎市民協働によ る緑地維持管 理事業	24	(23)	・推進	・保全管理計画策 定：1 箇所 （宮沢ふれあいの 樹林） ・保全管理計画策 定中：2 箇所 （新橋市民の森ほ か）	・保全管理計画策 定（中田宮の台市民 の森等 2 箇所） ・保全管理計画策 定中（下永谷市民の 森等 4 箇所）
5	●森づくりリー ダー等育成事 業	3	(3)	・森づくりボラン ティア育成 ：40 人	・森づくりボラン ティア育成 ：37 人	・森づくりボラン ティア育成 ：41 人
				・森づくりリーダ ー育成：5 人	・研修等を準備中 （2月実施予定）	・受講者募集中 （2月実施予定）
				・はまレンジャー 育成：20 人	・研修等を準備中 （2月実施予定）	・研修会等を準備中 （3月実施予定）

施策方針/事業・取組	平成 25 年度事業費 [百万円]		平成 25 年度 事業目標	進捗状況 (平成26年1月末時点)	備考 (平成25年1月末時点)
	総額	横浜 みどり税 充当額			
6 ●樹林地管理団体 活動助成事業	7	(7)	<ul style="list-style-type: none"> 愛護団体活動支援：40 団体 	<ul style="list-style-type: none"> 研修参加：13 団体 道具の貸出：15 団体 	<ul style="list-style-type: none"> 道具の貸出：7 団体
			<ul style="list-style-type: none"> 森づくりボランティア活動支援：40 団体 	<ul style="list-style-type: none"> 助成金交付：1 団体 研修参加：16 団体 道具の貸出：10 団体 	<ul style="list-style-type: none"> 助成金交付：1 団体 道具の貸出：4 団体
利活用促進					
7 ●森の楽しみづくり事業	42	(42)	<ul style="list-style-type: none"> 景観の森・生き物の森事業：5ha 	<ul style="list-style-type: none"> 実施に向け調整中 	<ul style="list-style-type: none"> 作業準備中 (三保市民の森、追分市民の森、境木ふれあいの樹林)
			<ul style="list-style-type: none"> 森の中のプレイパーク事業：1 箇所 	<ul style="list-style-type: none"> 10 回実施 (178 人) 	<ul style="list-style-type: none"> 7 回実施 (107 人)
			<ul style="list-style-type: none"> 森の収穫物体験事業：4 回 	<ul style="list-style-type: none"> 18 回実施 (722 人) 	<ul style="list-style-type: none"> 8 回実施 (404 人)
			<ul style="list-style-type: none"> 里山ライフ体験事業：4 回 	<ul style="list-style-type: none"> 9 回実施 (554 人) 	<ul style="list-style-type: none"> 9 回実施 (408 人)
			<ul style="list-style-type: none"> 健康の森事業：18 回 	<ul style="list-style-type: none"> 15 回実施 (350 人) 	<ul style="list-style-type: none"> 16 回実施 (515 人)
			<ul style="list-style-type: none"> 横浜の森の自然・生き物情報発信事業：推進 	<ul style="list-style-type: none"> ガイドマップ完成：1 箇所 (新治市民の森) ガイドマップ作成中：2 箇所 (まさかりが淵・ウイトリッヒ・深谷市民の森ほか) 	<ul style="list-style-type: none"> ガイドマップ完成：1 箇所 (三保市民の森) ガイドマップ作成中：2 箇所 (白根・上山ふれあいの樹林、中田・鯉ヶ久保・上矢部ふれあいの樹林)
			<ul style="list-style-type: none"> 間伐材活用クラフト作成事業：4 回 	<ul style="list-style-type: none"> 9 回実施 (555 人) 	<ul style="list-style-type: none"> 12 回実施 (582 人)
			<ul style="list-style-type: none"> 森の恵み塾事業：3 拠点で実施 	<ul style="list-style-type: none"> 市内各所で 73 回実施 (6,587 人) 	<ul style="list-style-type: none"> 市内各所で 72 回実施 (6,208 人)
8 ●みどりの夢かな えます事業	9	(9)	<ul style="list-style-type: none"> 助成団体：3 件 	<ul style="list-style-type: none"> 事業化決定：5 件 	<ul style="list-style-type: none"> 事業化決定：4 件

施策方針/事業・取組	平成25年度事業費 [百万円]		平成25年度 事業目標	進捗状況 (平成26年1月末時点)	備考 (平成25年1月末時点)	
	総額	横浜 みどり税 充当額				
9	◎間伐材資源循環 事業	10	(9)	<ul style="list-style-type: none"> 間伐材チップ化 作業支援 : 40回 間伐材利活用方 法の検討: 推進 	<ul style="list-style-type: none"> チップ化作業支 援: 9回実施 間伐材マネジメ ント研修: 1回 実施(15人) 利活用調査を実 施中 	<ul style="list-style-type: none"> チップ化作業支 援: 11回実施 間伐材マネジメ ント研修: 1回 実施(12人) 間伐材利活用方 法: 検討中
10	◇愛護会、森づく りボランティア 活動拠点整備事 業	10	(-)	<ul style="list-style-type: none"> 整備: 2箇所 	<ul style="list-style-type: none"> 整備済: 2箇所 (瀬谷市民の森 ほか) 	<ul style="list-style-type: none"> 【設計: 1箇所】 ・設計中: 1箇所 (鴨居原市民の森) 【整備: 2箇所】 ・整備済み: 1箇所 (新治市民の森) ・契約手続き中 : 1箇所 (瀬谷市民の森)
11	◇ウェルカムセン ター整備事業	47	(-)	<ul style="list-style-type: none"> 展示設置等 : 3箇所 	<ul style="list-style-type: none"> 整備中: 3箇所 (寺家・四季の 家、舞岡・虹の 家、環境活動支 援センター) 	<ul style="list-style-type: none"> 【設計: 2箇所】 ・設計中: 2箇所 (舞岡・虹の家、 寺家・四季の家) 【展示設置等: 2箇所】 ・展示設置済み : 1箇所 (自然観察センタ ー) ・整備中: 1箇所 (にいほる里山交流 センター)
確実な担保						
12	◎特別緑地保全地 区指定等拡充事 業	11,826	(1,005)	<ul style="list-style-type: none"> 指定面積 : 100ha ・買取り対応予定 面積: 約36ha 	<ul style="list-style-type: none"> 新規指定面積 : 59.5ha ・買取り面積 : 7.6ha 	<ul style="list-style-type: none"> 新規指定面積 : 66.4ha ・買取り面積 : 35.6ha
13	・よこはま協働の 森基金制度の見 直し	-	(-)	<ul style="list-style-type: none"> 制度運用 	<ul style="list-style-type: none"> 制度運用中 	<ul style="list-style-type: none"> 制度運用中
14	・国への制度要望	-	(-)	<ul style="list-style-type: none"> 推進 	<ul style="list-style-type: none"> 6月・8月に実 施 	<ul style="list-style-type: none"> 6月、8月に実 施

(2) 農地を守る

【凡例】 ●：新規事業（横浜みどり税充当） ◎：拡充事業（横浜みどり税一部充当）
◇：新規事業等（横浜みどり税非充当） ・：事業費のないもの

施策方針/事業・取組	平成25年度事業費 [百万円]		平成25年度 事業目標	進捗状況 (平成26年1月末時点)	備考 (平成25年1月末時点)	
	総額	横浜 みどり税 充当額				
継続保有の促進						
15	・生産緑地制度の活用	-	(-)	・制度運用	・12月5日 都市計画変更： 5件、2460.68 ㎡追加指定	・12月5日 都市計画変更： 7件、3,359㎡ 追加指定 (うち指定基準の 緩和による指定 ：2件、1,924㎡)
16	●農園付公園整備 事業	139	(28)	・用地確保：2.9ha ・基本・実施設計、 施設整備： 4.7ha	・用地確保：1.9ha ・基本・実施設計、 施設整備 1.7ha	・用地確保：1.3ha ・基本・実施設計 実施中：2箇所 ・基本・実施設計 完了：1箇所
17	◇特定農業用施設 保全事業（農業 用施設用地に対 する固定資産税 等の軽減）	2	(-)	・制度運用	・契約締結 ：38件	・契約締結 ：32件
農業振興						
18	◇共同直売所の設 置支援事業	31	(-)	・整備：1箇所	・整備：2箇所	・事業決定：1件 ・相談：1件
19	●収穫体験農園の 開設支援事業	70	(70)	・収穫体験農園整 備：5.3ha	・事業決定：5.2ha (31箇所)	・事業決定：4.4ha (34箇所)
20	●食と農との連携 事業	10	(10)	・地産地消の連携 の取組：5件	・実施済み：6件	・実施済み：6件
21	◇施設の省エネル ギー化推進事業	54	(-)	・温室内多層カー テン等設置助成 ：3.0ha	・事業決定：3.4ha (56件)	・事業決定：3.6ha (55件)
22	◇生産用機械のリ ース方式による 導入事業	44	(-)	・生産用機械の導 入助成：29件	・事業決定 ：27件	・事業決定 ：28件

施策方針/事業・取組	平成25年度事業費 [百万円]		平成25年度 事業目標	進捗状況 (平成26年1月末時点)	備考 (平成25年1月末時点)	
	総額	横浜 みどり税 充当額				
農地保全						
23	◇集团的農地の維持管理奨励事業	30	(-)	<ul style="list-style-type: none"> 支援対象面積：646ha 	<ul style="list-style-type: none"> ①奨励事業：実施承認済み ・集团的農地保全団体支援事業：676.4ha (51 団体) ・公益施設維持管理奨励事業：46 団体 ・農の散歩道育成事業：5 団体 ②集团的農地維持管理補助事業：交付決定3 地区 	<ul style="list-style-type: none"> ①奨励事業：実施承認済み ・集团的農地保全団体支援事業：645.9ha (49 団体) ・公益施設維持管理奨励事業：43 団体 ・農の散歩道育成事業：4 団体 ②集团的農地維持管理補助事業：交付決定3 地区
24	●水田保全契約奨励事業	36	(36)	<ul style="list-style-type: none"> 水田保全契約面積：120ha 	<ul style="list-style-type: none"> 新規申出：4.8ha 承認予定面積計：119.2ha 	<ul style="list-style-type: none"> 新規申出：4.8ha 承認予定面積計：114.5ha
25	◇かんがい施設整備事業	33	(-)	<ul style="list-style-type: none"> かんがい施設整備：3 地区 	<ul style="list-style-type: none"> 補助申請交付決定：3 地区 	<ul style="list-style-type: none"> 補助申請交付決定：3 地区
26	●不法投棄対策事業	18	(18)	<ul style="list-style-type: none"> 夜間警備委託：31 地区 	<ul style="list-style-type: none"> 夜間警備実施地区：28 地区 	<ul style="list-style-type: none"> 夜間警備実施地区：33 地区
				<ul style="list-style-type: none"> 住民パトロール・清掃支援：20 地区 	<ul style="list-style-type: none"> 支援内容調整中 	<ul style="list-style-type: none"> 支援用品配付中：13 地区
27	●環境配慮型施設整備事業	78	(78)	<ul style="list-style-type: none"> 農薬飛散防止ネット：6.5ha 	<ul style="list-style-type: none"> 事業決定：5.4ha (24 件) 	<ul style="list-style-type: none"> 事業決定：2.4ha (15 件)
				<ul style="list-style-type: none"> 牧草による環境対策等：20 地区 	<ul style="list-style-type: none"> 事業決定：33 地区 	<ul style="list-style-type: none"> 事業決定：10 地区
				<ul style="list-style-type: none"> その他施設整備：6 件 	<ul style="list-style-type: none"> 事業決定：18 件 	<ul style="list-style-type: none"> 事業決定：12 件

施策方針/事業・取組	平成 25 年度事業費 [百万円]		平成 25 年度 事業目標	進捗状況 (平成26年1月末時点)	備考 (平成25年1月末時点)	
	総額	横浜 みどり税 充当額				
担い手育成						
28	◇機械作業受託組織育成事業	24	(-)	・農業機械導入支援：1 地区	・農業機械導入支援：1 地区	・事業決定：1 地区
				・組織育成支援：2 地区	・検討中	・組織育成：2 地区
29	◇担い手コーディネーター育成・派遣事業	4	(-)	・市民農園コーディネーター育成研修：1 回	・育成研修開催準備	・育成研修：2 回実施
				・援農コーディネーター：2 組織	・協定を締結した組織の支援：2 組織	・協定を締結した組織の支援：2 組織
30	◇農業後継者・横浜型担い手育成事業	27	(-)	・経営改善支援：28 件	・事業決定：42 件	・事業決定：48 件
				・農業後継者育成：8 人	・農業後継者育成：8 人	・農業後継者育成：6 人
31	●農地貸付促進事業	23	(23)	・長期貸付開始農地：20.9ha	・長期貸付開始農地：8.8ha	・長期貸付開始農地：16.2ha
確実な担保						
32	●市民農園用地取得事業	1,597	(113)	・用地測量 ・用地取得：2.7ha	・用地測量 ・用地取得：1.1ha	・用地測量 ・用地取得：1.3ha
33	●農地流動化促進事業	22	(21)	・対象農地面積：7.3ha	・新規の貸借：10.4ha	・新規の貸借：11.0ha
34	・国への制度要望	-	(-)	・推進	・8 月に実施	・8 月に実施

(3) 緑をつくる

【凡例】 ●：新規事業（横浜みどり税充当） ◎：拡充事業（横浜みどり税一部充当）
◇：新規事業等（横浜みどり税非充当） ・：事業費のないもの

施策方針/事業・取組	平成25年度事業費 [百万円]		平成25年度 事業目標	進捗状況 (平成26年1月末時点)	備考 (平成25年1月末時点)
	総額	横浜 みどり税 充当額			
35 ◎地域緑のまちづくり事業	441	(427)	・地域緑化計画策定事業 新規：3地区 継続：4地区	①新規：1地区 ②継続：4地区	①新規： ・3地区で策定中 ②継続： ・5地区で協定締結が完了 ・1地区で策定中
			・地域緑化推進事業：16地区	・実施中：14地区	・実施中：11地区
36 ◎民有地緑化助成事業	47	(33)	・保育園・幼稚園芝生化助成事業：20園	・助成交付決定：2園	・助成交付決定：5園
			・区民花壇事業：4箇所	・助成申請：0箇所	・助成交付決定：4箇所
			・生垣設置事業：50m	・助成交付決定：20.3m	・助成交付決定：9m
			・屋上緑化助成事業：9件	・助成交付決定：10件	・助成交付決定：11件
			・名木古木保存事業： 新規指定10本 助成交付100本	・新規指定：7本 ・助成交付：51本	・新規指定：10本 ・助成交付：61本
・記念樹等生産配布事業：19,000本	・配布：19,233本	・配付：17,702本			
37 ◇公共施設緑化事業	264	(-)	・2.4ha	・実施中 (公立保育園2園、公立小中学校4校の芝生化含む)	・実施中(2.0ha) (公立保育園5園、公立小中学校8校の芝生化含む)
38 ◇公共施設緑化管理事業	145	(-)	・379施設、22.2ha	・実施中	・実施中(31.6ha)
39 ◎いきいき街路樹事業	220	(220)	・せん定本数：10,000本	・実施中	・実施中(せん定本数：10,000本)

施策方針/事業・取組	平成 25 年度事業費 [百万円]		平成 25 年度 事業目標	進捗状況 (平成26年1月末時点)	備考 (平成25年1月末時点)	
	総額	横浜 みどり税 充当額				
40	・民有地緑化の誘導等	-	(-)	・推進	・緑化地域制度等 推進中	・緑化地域制度等 推進中
41	・建築物緑化保全契約の締結（建築物の敷地に対する固定資産税等の軽減）	-	(-)	・制度運用	・契約締結 ：11 件	・契約締結 ：14 件
42	◇みどりアップ広報事業	10	(-)	・推進	<ul style="list-style-type: none"> ・推進中 ・24 年度実績報告リーフレット作成・配布・町内会等回覧 ・「みどりアップ」しています！宣言登録数 15,469 件(12 月末分まで) ・広報よこはま9 月号特集ページ ・農と緑のふれあい祭りなどのイベント出展 ・9月下旬～10 月に市営交通を中心に市内交通事業者の広告媒体を活用して月間や実績を PR 	<ul style="list-style-type: none"> ・推進中 ・よこはま花と緑のスプリングフェア等のイベント出展等 ・平成 23 年度事業成果リーフレット作成・配布・町内会等回覧 ・10 月・11 月のみどりアップ月間に電車内広告やラジオ放送での PR 及び公用車等に PR 用ロゴシール貼付など重点的に広報・PR を実施 ・「みどりアップ」しています！宣言登録 10,585 件
事業費計 ※四捨五入の関係により、合計が一致しないことがあります。		15,608	(3,287)	執行率 ・事業費総計：46.5% ・みどり税充当額総計：65.2%		

横浜みどりアップ計画市民推進会議について

横浜みどりアップ計画市民推進会議（以下「市民推進会議」という。）は、25年度までの計画である「横浜みどりアップ計画（新規・拡充施策）」の推進に向けて21年5月に設置した組織です。

26年度以降に取り組む「横浜みどりアップ計画」についても、市会や税制調査会からの意見も踏まえ、引き続き施策・事業の評価、提案等を行っていくこととするため、市民推進会議を継続して設置します。

1 主な役割

- (1) 施策・事業の市民への情報提供に関すること
- (2) 施策・事業の評価に関すること
- (3) 施策・事業に関する意見・提案等に関すること
- (4) その他、緑の保全・創造の推進に関すること

2 組織の構成等

(1) 組織構成

公募市民や自治会・町内会代表をはじめ、緑の保全と創造にかかわる関係団体の代表や有識者など幅広い主体が参加した組織構成とします。

(2) 委員（15名）

- ① 市民：5名（公募市民及び自治会・町内会代表）
- ② 関係団体：5名（各種活動団体、経済団体等）
- ③ 有識者：5名（学識経験者等（緑地系、農業系、財政・税制系等））

(3) 委員の任期

3年

(4) 公募市民の募集及び選考方法

- ・ 募集人数：4名
- ・ 募集要件：市内在住で26年4月1日現在20歳以上
- ・ 募集期間：26年4月～5月の概ね1か月間
- ・ 選考方法：小論文及び面接

3 年間の主な活動内容（案）

- ・ 全体会議の開催（3回程度）：年間の活動内容の決定、報告書のとりまとめなど
- ・ 部会の開催（9回程度）：施策ごとに事業の評価、提案等の検討部会を開催
- ・ 現地調査の実施（2回程度）：みどりアップ計画に取り組んでいる現場の調査
- ・ 広報誌の発行（4回程度）：市民推進会議の活動報告、みどりアップ計画に関する情報提供

【参考：21年度から25年度の活動実績】

裏面参照

参考：21年度から25年度の活動実績

1 全体会議、部会、現地調査

会議	回数	開催状況	備考
全体会議	17回	21年度：4回 22年度：3回 23年度：3回 24年度：3回 25年度：4回	・25年度は26年3月に開催予定の回数を含む ・22～25年度は各1回をみどりのオープンフォーラムとして開催
「樹林地を守る」施策を検討する部会	各6回	21年度：各2回	・25年度は26年2月に開催予定の回数を含む
「農地を守る」施策を検討する部会		22年度：各1回	
「緑をつくる」施策を検討する部会		23年度：各1回 24年度：各1回 25年度：各1回	
見える化部会	3回	23年度：2回 25年度：1回	
運営部会	1回	23年度：1回	
広報部会	19回	21年度：3回 22年度：3回 23年度：4回 24年度：4回 25年度：5回	・25年度は26年3月に開催予定の回数を含む
現地調査	11回	21年度：2回 22年度：3回 23年度：2回 24年度：2回 25年度：2回	・主に樹林地、農地を対象として実施

2 広報誌「濱RYOKU（はまりよく）」の発行

年度	回数	発行時期	備考
21年度	3回	21年9月、11月 22年1月	
22年度	3回	22年6月、7月、9月	
23年度	4回	23年4月、7月、9月、12月	
24年度	5回	24年4月、7月、10月 25年1月、3月	
25年度	4回	25年8月、10月 26年1月、3月	・26年3月に発行予定の回数を含む
合計	19回	・各回約17,000部発行 ・横浜市PRボックスや区役所等公共施設（約600か所）等で配布	

横浜みどりアップ計画(計画期間:平成 26-30 年度)の初年度広報について

1 効果的な広報の展開

26 年度からの「横浜みどりアップ計画」では、広報を重要な取組に位置づけ、年齢層や地域等の特性に合わせた多様な媒体・手段を用いた効果的な広報を展開することで、市民への周知徹底を図り、計画の効果を市民が実感できるよう工夫していきます。

財政局との連携を強化し、区役所の協力も得ながら、計画内容、実績及び横浜みどり税について市民の認知度が大幅に向上するよう、一体的な広報を実施していきます。

具体的には、計画・税を知っている方、知らない方、緑の活動に参加してみたい方、それぞれに合わせた広報を実施します。また、計画の実績を実感していただくとともに、市民の皆様に、緑を守り、つくり、育む取組に参加していただけるよう、緑に関するイベント等の広報も展開していきます。

さらに、より多くの市民の方に認知していただけるよう、新たな広報手法について検討し、実施していきます。

2 主な取組

(1) 継続及び強化する取組

- 個人市民税の納税通知書への広報チラシ同封、区税務課等の PR コーナーでのチラシ配布・ポスター掲出 <財政局・区税務課等と連携した広報体制の**強化**>
- 広報よこはまなどの広報誌 <特集ページの利用回数を増やすなど**強化**>
- ウェブサイトや、twitter などのソーシャルメディア
- 緑に関するイベントにおける PR
- 電車・バスなどの交通広告 <媒体・実施場所の拡大など**強化**>
- 事業実施箇所での表示 <より多くの箇所や分かりやすい表示をするなど**強化**>

(2) 新たな取組

- 事業実績を分かりやすく周知
<特別緑地保全地区等の保全実績を地図と重ねてホームページで公表>
- 計画により実施している工事や委託等の現場での表示
<市の工事や委託等の現場に統一的な看板等を設置>
- 多くの市民の目に触れる場所での PR
<区庁舎などの公共施設で横断幕や看板による PR>
- 新たな広報手法の検討・実施 <例 市民参加でのマスコットキャラクター>

横浜みどりアップ計画

(計画期間:平成26-30年度)

【概要版】

みんなで育む みどり豊かな美しい街 横浜



取組の柱1

市民とともに次世代につなぐ森を育む

森(樹林地)の多様な役割に配慮しながら、緑のネットワークの核となるまとまりのある森を重点的に保全するとともに、保全した森を市民・事業者とともに育み、次世代に継承します。



取組の柱2

市民が身近に農を感じる場をつくる

景観や生物多様性の保全など農地が持つ環境面での役割に着目した取組、地産地消や農体験の場の創出など、市民と農と関わりを深める取組を展開します。



取組の柱3

市民が実感できる緑をつくる

街の魅力を高め賑わいづくりにつながる緑や地域の緑、街路樹などの緑の創出に、緑のネットワーク形成も念頭において取り組みます。また、地域で緑を創出・継承する市民や事業者の取組を支援します。

効果的な広報の展開

市民の皆様のご理解とご協力を得ながら取組を推進するため、取組の内容や実績について、様々な媒体・手法を用いて効果的にお知らせし、理解を深めていただくとともに、緑に関わる活動に参加するきっかけとなる機会を提供します。

横浜みどり税

横浜みどりアップ計画は、財源の一部として「横浜みどり税」を活用しています。

横浜みどりアップ計画とは

横浜市は大都市でありながら、市民生活の身近な場所に水や緑の環境を有しています。この緑の環境を生かし、また、次世代に引き継いでいくため、市は平成18年に策定した「横浜市水と緑の基本計画」に基づき、「横浜らしい水・緑環境の実現」に向けて、水と緑の環境を育む様々な取組を展開しています。さらに、平成21年度からは、「横浜みどり税」を財源の一部に活用した重点的な取組として「横浜みどりアップ計画(新規・拡充施策)」を推進してきました。

緑の保全・創造は継続的に取り組むことが重要であり、これまでの取組の成果(5ページ)や課題(6ページ)、市民意見募集の結果(6ページ)などを踏まえ、平成26年度以降に取り組む「横浜みどりアップ計画」(計画期間:平成26-30年度)を策定しました。計画の理念と目標を次のように定め、市民や事業者の皆様とも連携しながら、その実現を目指します。

計画の理念: みんなで育む みどり豊かな美しい街 横浜

5か年の目標

1 緑の減少に歯止めをかけ、総量の維持を目指します

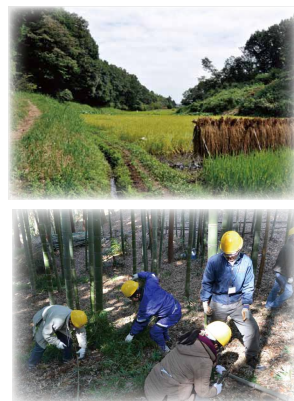
緑地保全制度の指定により担保される樹林地が増加、
水田の保全面積が増加、市街地で緑を創出する取組が進展 など

2 地域特性に応じた緑の保全・創出・維持管理の充実により緑の質を高めます

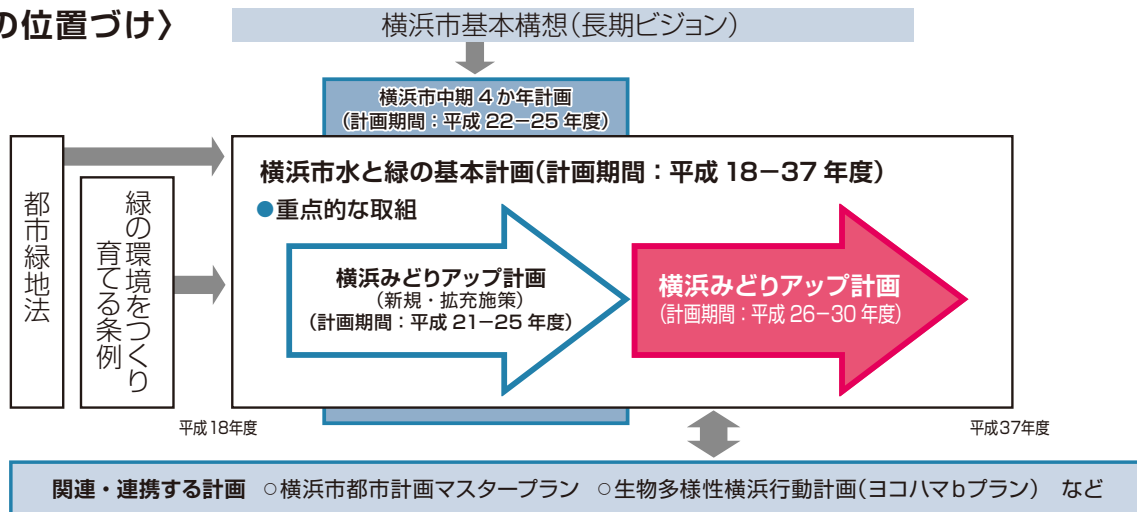
森の保全管理など生物多様性に配慮した取組の進展、緑や花の創出により
街の魅力・賑わいが向上 など

3 市民と緑との関わりを増やし、緑とともにある豊かな暮らしを実現します

森に関わるイベントや農作物の収穫体験、地域の緑化活動など、
市民や事業者が緑に関わる機会が増加 など



〈計画の位置づけ〉



計画を進めるための財源について(横浜みどり税)

横浜市では、緑の保全・創造に取り組むために必要な、安定的な財源を確保するため、平成21年度から市民の皆様にご負担いただいている「横浜みどり税」について、引き続き平成26年度から30年度までご負担をお願いし、この計画の重要な財源の一部として活用していきます。

対象	税率	延長期間
個人	市民税の均等割に上乗せ900円/年※	平成26年度から平成30年度
法人	年間均等割額の9%相当額/年	平成26年4月1日から平成31年3月31日までの間に開始する事業年度分

※所得が一定金額以下で市民税均等割が課税されない方は課税対象から除く

計画の体系・5か年事業費

総事業費 約485億円(約130億円)

※()は、うちみどり税 ※みどり税以外の財源として、国費・市債・一般財源等があります。※端数調整により、合計値が整合しないことがあります。



取組の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む 366億円(67億円)

施策1 325億円(36億円) 樹林地の確実な保全の推進	事業① 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り 325億円(36億円)
施策2 38億円(30億円) 良好な森を育成する取組の推進	事業② 生物多様性・安全性に配慮した森づくり 37億円(30億円)
	事業③ 森を育む人材の育成 0.7億円(0.7億円)
施策3 3億円(1億円) 森と市民とをつなげる取組の推進	事業④ 市民が森に関わるきっかけづくり 3億円(1億円)



取組の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる 40億円(17億円)

施策1 37億円(17億円) 農に親しむ取組の推進	事業① 良好な農景観の保全 11億円(6億円)
	事業② 農とふれあう場づくり 26億円(11億円)
施策2 3億円(-) 地産地消の推進	事業③ 身近に感じる地産地消の推進 3億円(-)
	事業④ 市民や企業と連携した地産地消の展開 0.7億円(-)



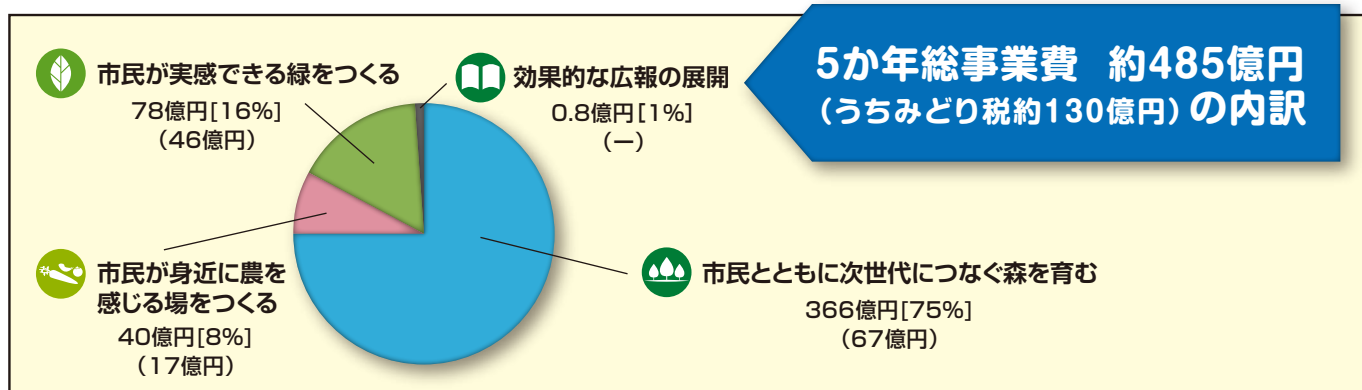
取組の柱3 市民が実感できる緑をつくる 78億円(46億円)

施策1 48億円(22億円) 市民が実感できる緑を創出する取組の推進	事業① 民有地での緑の創出 3億円(2億円)
	事業② 公共施設・公有地での緑の創出 45億円(19億円)
施策2 30億円(25億円) 緑を楽しむ市民の盛り上がりを醸成する取組の推進	事業③ 市民協働による緑のまちづくり 9億円(9億円)
	事業④ 子どもを育む空間での緑の創出 5億円(0.8億円)
	事業⑤ 緑や花による魅力・賑わいの創出 16億円(15億円)



効果的な広報の展開 0.8億円(-)

事業① 市民の理解を広げる広報の展開 0.8億円(-)



横浜みどりアップ計画の取組の概要



取組の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

施策1 樹林地の確実な保全の推進

事業① 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

市内に残る樹林地の多くは民有地であることから、緑地保全制度の指定により土地所有者への優遇措置を講じることで、まとまりのある樹林地を保全します。

また、土地所有者の不測の事態等による、樹林地の買入れ申し出に対応します。



緑地保全制度の指定により保全された樹林地

施策2 良好な森を育成する取組の推進

事業② 生物多様性・安全性に配慮した森づくり

樹林地の維持管理(森づくり)を行う際の技術指針である森づくりガイドライン等を活用し、生物多様性の保全、利用者の安全や快適性の確保、良好な景観形成など、森に期待される多様な役割に配慮した森づくりを推進します。

事業③ 森を育む人材の育成

市民や事業者と市の協働により森を育む取組を進めるため、森づくり活動に取り組む市民や団体を対象に、活動のための知識や技術に関する研修を実施し、森を育む「人」を育てます。



森づくりを推進している樹林地

施策3 森と市民とをつなげる取組を推進

事業④ 市民が森に関わるきっかけづくり

森に関わる市民の裾野を広げるため、森に関するイベントや講座の開催などにより、市民が森に関わるきっかけを提供します。



イベントの様子

横浜公園 約80個分!

5か年の
主な取組

- 樹林地500haを新規に保全(108haの買取りを予定)
- 生物多様性・安全性に配慮した森づくり
- 森に関わるイベント開催 180回

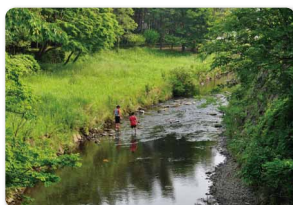


三保・新治地区のまとまりのある森



みどりは横浜の魅力のひとつです

横浜市は大都市でありながら、市民生活の身近な場所に水や緑の環境があります。





取組の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

施策1 農に親しむ取組の推進

事業① 良好な農景観の保全

農景観を次世代に継承するため、横浜に残る貴重な水田景観を保全する取組や、意欲ある農家・NPO法人などにより農地を保全する取組を支援します。

事業② 農とふれあう場づくり

食と農への関心や、農とのふれあいを求める市民の声の高まりに応えるため、様々な市民ニーズに合わせた農園の開設など市民が農とふれあう機会を提供します。

施策2 地産地消の推進

事業③ 身近に感じる地産地消の推進

地域でとれた農産物などを販売する直売所の整備等の支援や、市内で生産される苗木や花苗を配布するなど、地産地消の取組を拡大します。

事業④ 市民や企業と連携した地産地消の展開

地産地消に関わる人材の育成やネットワークの強化を図るとともに、農と市民・企業等が連携する取組を推進します。

5か年の
主な取組

- 水田を125ha保全
- 市民が楽しめる農園を25.8ha開設
- 市民や企業と連携した地産地消の展開



みなとみらい農家朝市



谷戸の農景観



取組の柱3 市民が実感できる緑をつくる

施策1 市民が実感できる緑を創出する取組の推進

事業① 民有地での緑の創出

多くの市民が目にする場所や効果的な場所での緑の創出、地域で親しまれている名木古木の保存など、緑の創出・保全に積極的に取り組む市民・事業者を支援します。

事業② 公共施設・公有地での緑の創出

多くの市民が利用する地域の公共施設から率先し、市民が実感でき、生物多様性の向上や地域の良好な景観形成につながる緑を創出します。

施策2 緑を楽しむ市民の盛り上がりを醸成する取組の推進

事業③ 市民協働による緑のまちづくり

地域にふさわしい緑を創出する計画をつくり、計画を実現していくための取組を、市民との協働で進めます。

事業④ 子供を育む空間での緑の創出

次世代を担う子供たちが緑と親しみ、感性豊かに成長できるよう、子どもが多くの時間を過ごす保育園、幼稚園、小中学校を対象に、施設ごとのニーズに合わせた多様な緑の創出・育成を進めます。

事業⑤ 緑や花による魅力・賑わいの創出

都心臨海部において緑や花による空間演出や質の高い維持管理を集中的に展開し、街の魅力形成・賑わいづくりにつなげます。

5か年の
主な取組

- 民有地における緑化の助成 65件
- 市民協働による緑のまちづくり 46地区
- 都心臨海部で緑や花による賑わい創出



のびのびと遊べる園庭



季節ごとに美しい景観をつくる並木



効果的な広報の展開

事業① 市民の理解を広げる広報の展開

取組の内容や実績について、様々な媒体・手法を用いて効果的に市民へ広報を行い、理解を深めるとともに緑に関わる活動に参加するきっかけとなる機会を提供します。

具体的な取組

- 広報誌やメディア等を活用した計画や実績の広報
- 自治会や町内会などを通じた広報
- 電車・バスなどの交通広告
- 事業実施箇所での表示
- 新たな手法による広報 など

計画の背景

■横浜みどりアップ計画(新規・拡充施策)の4か年の主な成果(平成21~24年度)

横浜みどりアップ計画(新規・拡充施策)に基づく、緑の減少に歯止めをかける取組や、市街地における緑の創出などの取組において、取組の成果が出てきています。

みどり税も活用し、緑を守り、つくり、育む取組を進めました。

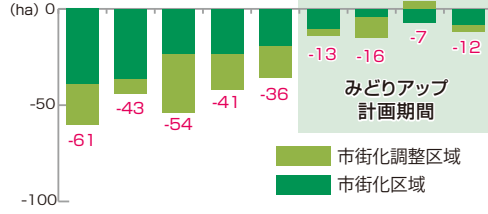
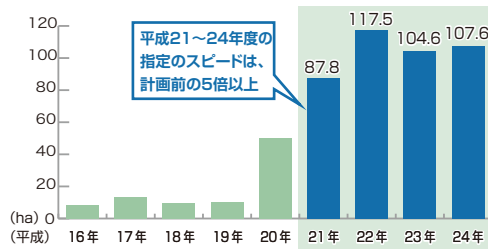
樹林地を守る 取組

新たに417.5haの樹林地を守り、樹林地の減少傾向が鈍化

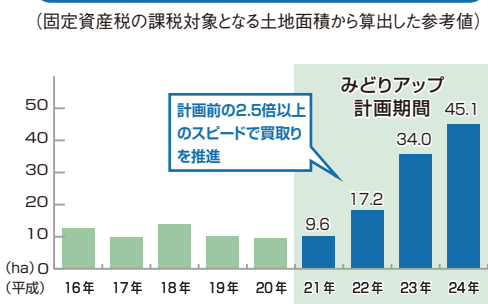
- その他の取組
 - ・市民協働による緑地維持管理:14か所
 - ・森の恵み塾:231回

など全14事業

▼緑地保全制度による新規指定面積の推移



▲山林減少面積の推移



▲緑地保全制度による買取り面積の推移

保全した樹林地

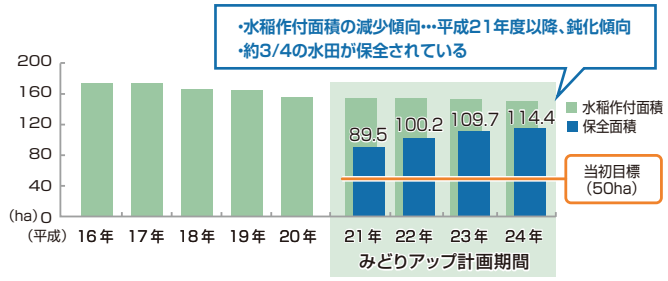
農地を守る 取組



114.4haの水田を保全

- その他の取組
 - ・収穫体験農園の開設支援:95か所
 - ・新規の農地貸借:26.6ha

など全20事業



▲水稲作付面積と保全面積の推移

緑をつくる 取組

地域で緑を育む取組を15地区で支援

- その他の取組
 - ・校庭・園庭の芝生化:123か所
 - ・屋上・壁面緑化助成52件

など全8事業



横浜みどりアップ計画(新規・拡充施策)事業費内訳

(実績ベース:平成21~24年度決算、平成25年度予算)【単位:百万円】

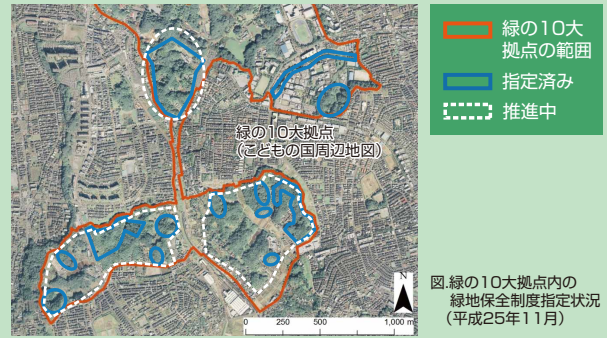
取組の柱	5か年事業費	率	うちみどり税	率
樹林地を守る	43,513	83%	6,567	68%
農地を守る	4,977	10%	1,126	12%
緑をつくる	3,722	7%	1,895	20%
合計	52,212	100%	9,588	100%

※みどり税以外の財源として、国費・市債・一般財源等があります。

■横浜の緑の課題

山林(樹林地)の減少傾向が鈍化してはいるものの、保全すべき樹林地は多く残っており、継続した取組を進めていくことが必要です。また、保全・創出した緑を良好に育む取組や、市民と緑との関わりを深める取組を進めることも求められています。市民や事業者の参画を得ながら、生物多様性の保全や、農体験の場など市民が緑にふれる場づくり、街の魅力づくりなど、緑の質の充実を進めていく必要があります。

▶▶ 緑の10大拠点内にも保全すべき樹林地は多く残っています



▶▶ 生物多様性の向上など、緑の質を充実させることが必要です



◀手入れがされていない森



森の維持管理活動の様子



▶▶ 「農」とのふれあいを求める市民が増えています

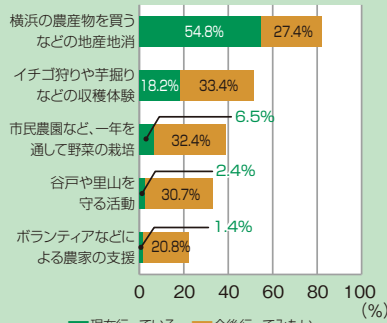


図. 市民が「農」に関して、現在行っていること、今後行ってみようこと
(横浜の緑に関する市民意識調査：平成24年7月)

▶▶ 街の魅力をつくる緑の創出が必要



商業・業務ビルの敷地内に緑の空間を設け、賑わいの創出につながっている例

■緑の取組に対する市民意見募集の結果(抜粋)

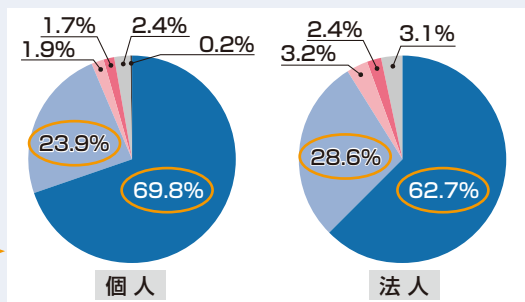
横浜みどりアップ計画の策定に向けて、平成26年度以降に重点的に取り組む緑の施策を「これからの緑の取組[平成26-30年度](素案)」としてまとめ、この素案に対して市民意見募集を行いました。

●アンケート調査の結果(端数調整により合計値が100%にならない場合があります)

【取組の目標について】

「これからの緑の取組[平成26-30年度]」では、引き続き、緑の保全・創造の取組を進め、緑の減少に歯止めをかけるようとしています。このことについてどう思いますか。

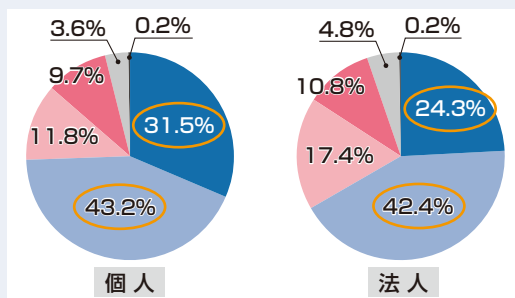
9割以上の方が「積極的に取り組む必要がある」又は「どちらかと言えば取り組む必要がある」と回答



【取組に必要な財源について】

「これからの緑の取組[平成26-30年度]」に掲げた施策を実施するためには、安定した財源が必要となります。その財源の一部を横浜みどり税のように、市民が負担することについてどう思いますか。

個人7割以上、法人6割以上の方が「積極的に負担する必要がある」又は「どちらかと言えば負担する必要がある」と回答



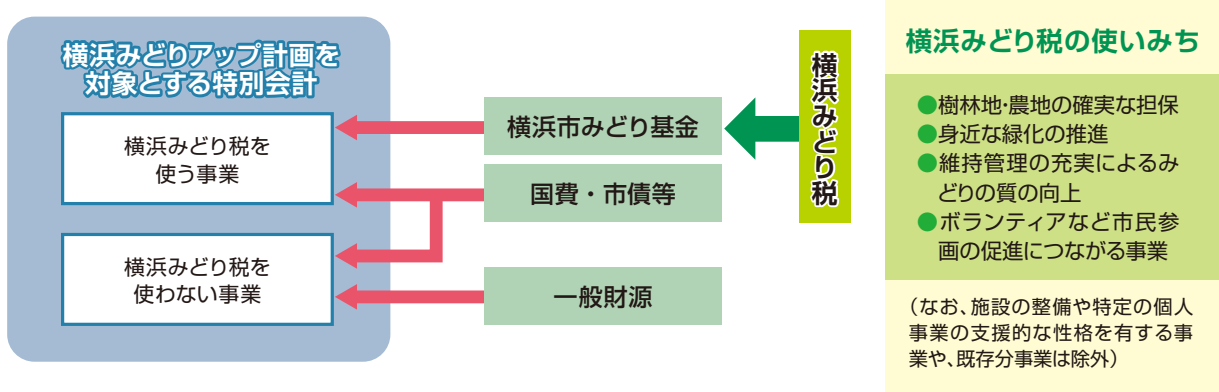
(これからの緑の取組[平成26-30年度](素案)に対する市民意見募集:平成25年4月)

計画を進めるにあたって

■横浜市みどり基金と特別会計（横浜みどり税の使いみち）

「横浜みどり税」は、市民税の超過課税の形でご負担をお願いするものですが、その税収の使いみちは「横浜みどりアップ計画」に限定されます。そこで、この税収を管理する基金（横浜市みどり基金）を設置することにより、他の一般財源から明確に分離するとともに、年度間の財源調整も行います。

横浜みどり税の使いみちを明確にするためには、横浜みどり税を使う事業だけでなく、横浜みどりアップ計画全体について、その内容や進捗状況を他の施策と分離して明らかにしていく必要があります。そこで、横浜みどり税を使わない事業を含めた横浜みどりアップ計画全体を対象とする特別会計により、横浜みどり税の使いみちを明確にします。



■横浜みどりアップ計画市民推進会議

「横浜みどりアップ計画」を進めるにあたって、公募市民や学識経験者などからなる「横浜みどりアップ計画市民推進会議」という組織を設置しています。

市民推進会議では、「横浜みどりアップ計画」の推進に向けて、市民参加の組織により、事業、施策の評価・意見・提案や市民の皆様への情報提供等を行っています。

また、広報誌「濱RYOKU」を発行し、市民推進会議の活動内容や、横浜みどりアップ計画の取組を紹介しています。



みどりのオープンフォーラム



現地調査



会議の様子



「濱RYOKU」第17号



URL: <http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/midoriup/>

【お問合せ】

横浜みどりアップ計画について

横浜市環境創造局政策課 TEL: 045-671-4214 FAX: 045-641-3490 Eメール: ks-mimiplan@city.yokohama.jp
みどりアップ推進課 TEL: 045-671-2712 FAX: 045-224-6627 Eメール: ks-midoriup@city.yokohama.jp

横浜みどり税について

横浜市財政局税制課 TEL: 045-671-2252 FAX: 045-663-3822 Eメール: za-zeisei@city.yokohama.jp

